

平成29年度

平成29年8月31日

# 学校だより



夢に近づけ 今、鴨居がいいかも！  
横浜市立鴨居小学校

電話 045(931)2062

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamoi/>

## 夏祭り

校長 石原 敏宏

私は夏休みに青森のねぶた祭りを見に行きました。2年前に秋田の竿灯祭りを見に行き、その素晴らしさに感動しました。その後「今度は青森のねぶた祭りを見に行こう。」と計画していたのが今年実現しました。

ねぶた祭りも竿灯祭りも全国的に有名な祭りで、観光客が大勢出て見学しています。しかし、決して観光客のための祭りではなく地域に根差した地域の人々の祭りだと、実際に見学に行くと再認識しました。それは、祭りに大人だけでなく子どもが数多く参加しているのが目に留まったからです。ねぶたの後ろで跳人（ハネト）となって掛け声とともに跳ねて踊る子どもたちや、ねぶたを動かす高校生、太鼓を叩く子どもたちの姿はどれもとても素敵でした。道路の両側で見ている人たちも一緒になって掛け声をかけ、見ている人と踊っている人の一体感を感じました。ねぶた祭りというと、大きなねぶたが運行される印象が強いですが、それだけではない祭りの醍醐味を味わうことができました。

この祭りの資料館を訪れ、ねぶた祭りの歴史を学ぶことができました。先人の熱意と努力で祭りが守られてきたことが分かり、歴史と伝統に裏付けされた祭りのすばらしさを再確認しました。

自分自身の祭りの記憶というと、子どもの頃によく出かけた洲崎神社の祭りです。神奈川区の青木橋（京急神奈川駅の隣）の近くにあるこの神社は江戸時代に神奈川宿があったころには大層な賑わいを見せていたそうです。私が小中学生だった時には、この神社の祭りに友達と大勢で遊びに行ったものでした。露店で買い食いをしたり、近くの公園にみんなが集まって遊んだり今でも楽しい思い出です。

地域の祭りや行事は子どもの心に深く残り、子どもが地域への帰属意識を持つことに繋がります。鴨居は歴史のある地域で、昔からの祭りやお囃子があります。そのお囃子を本校の卒業生が中学生になってからも続けて、地域の伝統を守る一翼を担っていることを聞いてうれしく思っています。

また、夏休み中に校庭で行われた盆踊りやワクワクキャンプ、鴨居原市民の森でのソーメン流しなどに多くの小学生や中学生が参加していました。鴨居には子どもたちが楽しく参加できる行事がたくさんあります。私は子どもたちが鴨居の祭りや行事の楽しい思い出とともに、鴨居のまちを故郷として感じ、成長して行って欲しいと願っています。

